

4th International Dysphagia Conference at FHUR

2022年9月23、24日に第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会が幕張で開催されるのに伴って、学会が招聘している欧米諸国の研究者10名が、9月26日（月）に来藤します。藤田リハは日本の嚥下リハビリテーションの中心的存在であり、学会前後に多くの研究者が立ち寄るようになってきました。International Dysphagia Conference at FHURは、2017年よりスタートし毎年実施していましたが、昨年、1昨年はコロナのため実施できず、今年は待望の2年ぶりの開催となります。

今年も、世界に名だたる顔ぶれとなっています。アメリカの嚥下学会の前理事長、現理事長、ヨーロッパの嚥下学会の理事長をはじめ、この道の発展を牽引し続けている第一人者が各国から集結します。また嚥下領域だけではなく、パーキンソン病のリハビリテーションプログラムLSVT（Lee Silverman Voice Treatment）の創始者である米国のLorraine A. Ramig先生やテクノロジーを駆使した構音障害や失語症のリハビリテーションを推進しているドイツのKestin Bilda先生にもご登壇頂きます。さらにKeynoteレクチャーとして、才藤栄一先生からトランスディシプリナリーアプローチについて講演頂きます。

こうした著名な研究者の講演を一度に拝聴でき、議論できることはまたとない貴重な機会です。国際レベルの研究推進と共同研究のさらなる発展を目的に、4th International Dysphagia Conferenceを開催します。

開催要項

名称： 4th International Dysphagia Conference at FHUR
主催代表： 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座 大高洋平
会期： 2022年9月26日（月）13時30分～18時00分
会場： 藤田医科大学2号館
参加予定人数： 約200名
対象： 医師、歯科医師、療法士、看護師、歯科衛生士、管理栄養士
事務局・担当者： 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座
尾関恩（E-mail megnagae@fujita-hu.ac.jp）
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98
電話 0562-93-2167/FAX0562-95-2906

プログラム

Opening remarks Eiichi Saitoh
Keynote lecture Eiichi Saitoh
“Transdisciplinary approach for dysphagia”
Lectures Jacqueline Allen (The University of Auckland, NZ)
Kerstin Bilda (Hochschule für Gesundheit, GER)
Cara Donohue (University of Florida, USA)
Melissa Farrow (Texas Health and Speciality Care System, USA)
Maggie-Lee Huckabee (University of Canterbury, NZ)
Georgia A. Malandraki, SLP, MPhil (Purdue University, USA)
Bonnie Martin-Harris (Northwestern University, USA)
Kathy Panther (Frazier Rehabilitation Institute, USA)
Lorraine Olson Ramig (University of Colorado-Boulder, USA)
Nathalie Rommel (University of Leuven, Belgium)

Masako Kurachi (International University of Health and Welfare, JPN)

Hitoshi Kagaya (National Center for Geriatrics and Gerontology, JPN)

Mitsuyoshi Yoshida (Fujita Health University, JPN)

Yoko Inamoto (Fujita Health University, JPN)

Closing remarks Yohei Otaka